

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設	評価対象年度	平成21年度
事業者名	川崎市有馬・野川生涯学習支援施設共同運営事業体 <構成団体> ・財団法人川崎市生涯学習財団 ・特定非営利活動法人有馬まぢづくり サポートセンターカンアオイ	評価者	生涯学習支援課長
指定期間	平成21年4月1日～平成24年3月31日	所管課	宮前区役所生涯学習支援課

2. 事業実績

利用実績	ふれあいネットによる施設利用状況						図書室利用状況	
	利用人数	13,013	1,935	619	1,396	5,110	22,073	開館日数 298日 貸出冊数: 56,647冊 延利用者数: 23,182人 市立図書館貸出・返却等 50～100冊/日
収支実績	収支決算書						単位:円	
	科目	予算金額	決算金額	増減額(-)	10%以上増減の場合の説明			
収入の部				0				
1	指定管理委託費	47,269,000	47,269,000					
2	利用料金収入	2,304,000	2,245,010	58,990				
3	その他収入	0	552,000	(552,000)	講座を多く実施したため			
4	雑収入	169,000	458,413	(289,413)	印刷代などが見込みを上回ったため			
合計		49,742,000	50,524,423	(782,423)				
支出の部					主な費目(単位:千円)			
1	管理運営費	49,742,000	45,702,507	4,039,493	人件費(26,150-25,447=703) 賃金(2,488-1,357=1,131) 光熱水費(3,456-2,771=685)			
2	本部管理費		693,038	(693,038)	管理費(0-693=- (693))			
合計		49,742,000	46,395,545	3,346,455				
サービス向上の取組	経費節減効果を学習講座の増設、図書購入に充当するなど目に見える形でサービスの向上に努めている。							

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、生涯学習支援施設としての役割や目的を果たしているか。	5	3(0.6)	3
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	3(0.6)	3
	利用者満足度	利用者満足度調査を実施し、調査結果を踏まえた満足度向上のための具体的な取組が行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 利用者連絡会を設置するなど、施設の公平利用に努めており、地域に根ざした施設の管理運営がなされている。事業実施後に参加者へのアンケートを実施し、成果や課題の分析を行い、今後の事業を企画する上で判断材料としている。 利用促進等については、ホームページを開設し、施設で行う事業等を発信するとともに、施設の広報紙においては、地域情報を掲載することや、町会・自治会等の回覧板を活用した広報などを行い、地域住民の方々に親しまれる施設となるような取り組みを行っている。また、館内に利用者団体等の情報を掲載する掲示板を設置し、団体情報の発信や交流の機会を提供している。					
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすこと無いう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	人員配置	円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	人材育成	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 施設の維持管理、個人情報保護等については、仕様書に基づき各種点検・維持管理業務を適正に行っている。人員配置等については、市民活動に豊富な経験者を統括責任者として配置するなど、各業務を遂行する上で必要な能力を有している職員を配置している。また、職員の勤務時間及びローテーションについては、計画書のとおり実施し、支障無く施設の管理運営を行った。危機管理については、防災設備の月例点検を実施し、適正な管理を行った。また、災害時等を想定した防災訓練を行い、来館者の誘導方法など非常時における職員の対応方法を学び、防災意識の向上を図った。					

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯学習振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	生涯学習支援事業	生涯学習支援を図るための学習教室やイベント等事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域学習指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	活動団体等との連携事業	地域活動団体や他施設と連携して魅力ある事業を展開しているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動促進業務	市民活動への参加促進に向けて活動団体の情報収集・提供を行うとともに、市民活動に関する相談体制の充実を図っているか。	5	3(0.6)	3
	市民活動支援体制	市民活動支援コーナーの適正利用に向け、利用団体間で意見調整を行い、市民活動支援を図っているか。	5	2(0.4)	2
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	広報活動	施設利用促進及び生涯学習振興を図るための広報活動が成されているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 各事業について、市民ニーズを的確に捉え施設の利用を促進した。自主事業については、幅広い年代の興味関心があるクラシックコンサートを開催することを通して、地域の方々が交流し、繋がりを深めていくことや、地域で活動する人材の活用、施設を知るきっかけづくりを行った。 ただし、市民活動の支援体制については、支援プログラムについて検討に留まったほか、市民活動支援コーナーの個人利用に関して、利用者連絡会の設置や検討が遅れ、実施することが出来なかったため、改善が必要である。					
収支状況		収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	3(0.6)	3
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	4(0.8)	4
	適切な金銭管理・会計手続き	収入と預かり金等を区別した管理を行うとともに、事業収支に関して適正な会計処理が行われているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由) 収入・支出の予算と決算において乖離が見られたが、想定していない問題等の発生しやすい開館初年度を安定して運営することができ、収支差額をプラスとすることができた。また、光熱水費や再委託の管理業務に関して経費節減を図り、当初の計画以上に生涯学習支援に関する講座を実施することができた。ふれあいネットの利用料金や印刷代行業務など利用者から現金で徴収し、適正な会計処理を行った。					

#### 4. 総合評価

評価点合計	60	評価ランク	C
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

開設初年度であり、年度途中(5月)の開館となったことから、設備等に不測の事態も発生し安定的な管理運営に困難が伴ったものの、大きな事故もなく概ね計画どおりに推移している。地域に根ざした施設運営については、自主事業、各種交流事業を積極的に行っており評価できる。また、地域図書室の運営に加え、市立図書館蔵書の返却受付等の業務を円滑に行っていることは評価できる。有料施設の利用促進については他館との単純な比較は困難であるが、一層の工夫が必要である。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

生涯学習及び市民活動の普及促進に関する事業については、地域課題等も視野に入れ、市民が自立的、主体的に学級・講座に取組むことができる体制づくりが今後一層求められる。引き続き、利用者連絡会、地域市民等との協働・連携を推進し、公の施設として、公平・公正な管理・運営に努めることが肝要である。地域図書室の蔵書についても、地域の特徴を生かした計画的な整備が求められる。